

こんな所に日本人

2005年3月28日が誕生日、ぼくは還暦を迎える。その前年、アルパインツアーの現社長、芹澤健一氏から声がかかった。「どこか、一緒に行って誕生日祝いをやりましょう」。そのひと声がかきかけになって、2005年3月24日～4月3日の「アンナプルナ・ダウラギリ展望トレッキング」が企画された。当初はシリーズ化するとは思わなかったので、タイトルなど頭になかったのが、この年の二月にニュージーランド、翌年3月にカナディアンロック、9月にアラスカ・ノースフェイスロッジと回が重なったので、シリーズ化を念頭に“地球を遠足”とネーミングしたのだった。2005年3月のネパールを第一回と数えると、先月のコモド3島で95回、もうすぐ100回を迎える。

少し前から、テレビ番組で気になっていることがある。山がらみ、海外がらみの絵が多いのだ。「山」については別の機会に書く。「海外」については、「世界不思議発見」「こんな所に日本人」「クイズ番組」、などなど。“地球を遠足”のおかげで、あちこちの国をめぐることができた。スイッチをオンにして、テレビ画面に絵が出てくると、あっここ行った、あっここも行った、と訪れた国がけっこう出てくる。

先日、クイズ番組でコモド島が登場した。A国・B国・インドネシアと三つの国名が出て、コモド島はどこの国か、という問題だった。コモド島となると、誰もが知っているという島ではないようだ。「こんな所に日本人」という番組では、コモド3島で、コモドドラゴンのガイドをやっている男性が紹介されていた。ボリビアにいる日本人を捜し当てると、彼はウユニ塩湖のガイドだった。

コモドドラゴンのガイドをやっている映像は、実際に“地球を遠足”で行く一週間くらい前のことだったので、世界が狭くなっていることを実感した。ウユニ塩湖というか、ボリビアからは首都ラパス在住の日本語ガイド井上節子さんを取り上げて欲しいとおもっている。

ラパスの空港は世界最高所にある国際空港であり、ラパスは世界最高所3,632mにある首都である。第90回“地球を遠足”ウユニ塩湖とチチカカ湖を訪ねる遠足で、ラパスに降り立ったぼくはウユニ塩湖で高山病になってしまった。チチカカ湖への移動日、ラパスの空港に残されたぼくを、ホテルに案内してくれたり病院に連れて行ってくれたりと面倒みてくれたのが、ラパス在住の日本語ガイド井上節子さんだった。まさに「こんな所に日本人」であった。この紙面からも改めて、お礼を言わせていただきます。

ペトラ遺跡濁流の映像にはビックリ、2009年11月、第17回“地球を遠足”でエジプト～ヨルダンを訪れている。継続は力というが、“地球を遠足”ももうすぐ100回、面白さがタテ・ヨコ・ナナメに広がっている。